

環境と健康

防災などに活かす公衆衛生活動の推進へ

第59回広島県公衆衛生大会開催



環境と健康のポスター・標語コンクール優秀作品表彰式

「環境と健康のポスター・標語コンクール優秀作品表彰式」を実施し、最優秀賞を受賞した児童生徒徒をはじめ、開催地である広島市の他、近隣の市町から15人が

第59回広島県公衆衛生大会へ健やかな暮らしをつくる人々の集いが、11月16日に東広島市黒瀬生涯学習センターせらぎホールで開催され、県内各地から公衆衛生推進委員や行政事務担当者など、約550人が参集しました。

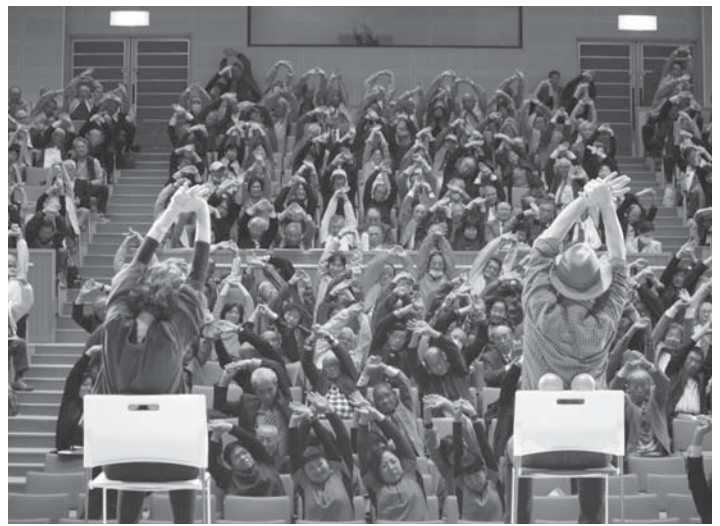
この大会は、公衆衛生の向上に日々努力する個人や団体を称え、知識や体験を交流しあい、真に健康な県民生活の実現に寄与することをねらいに、式典や講演などを行っています。式典では、県知事、広島県医師会長及び環境保健理事長から、それぞれ公衆衛生活動において多大な成果をあげた48個人・8団体の功績を称え、表彰状が授与さ

れました。式典の最後に、地区衛生組織代表者会議の今津俊昭議長により大会宣言(2面に掲載)が読み上げられました。

今年7月豪雨災害により広島県内の多くの場所で大規模な被害が発生し、今後どこかで起こりうる災害に対し、私たち住民組織が災害支援などの場において果たすべき役割を明確にし、公衆衛生の向上への取り組みがこれからの重要な活動テーマとなると考え、大会宣言の中に「防災・減災・復興に活かす公衆衛生活動の推進」を掲げました。大会宣言に掲げる7つの項目は、向こう1年間の公衛協活動の柱となります。この宣言に対し、会場

出席し、表彰状とトロフィーを受け取り、全員で記念撮影を行いました。入選作品110点は大会資料に掲載するとともに、会場ロビーに展示しました。受賞者の作品覧は号外をご覧ください。

お昼のアトラクションでは、黒瀬町で活躍される日本舞踊(山村寿美世会)、箏曲(和楽器奏団(琳)、民謡(志紅会)が披露されました。午後からは、筑波大学名誉教授 田中喜代次先生による「生き生き上



ラヴァボールを使ったストレッチ体験(上)、大会宣言を読み上げる代表者会議今津議長(下)



手では健康華輪と、Jサーキット株式会社 代表取締役 J.アライ先生による「元気になるにゃ、どすりゃんかいの?!」と題した記念講演があり、実際にラヴァボールを使ったストレッチを体験

ました。関連記事2面参照。J.アライ先生の講演では、来場者6人に入選率1位の表彰のほか、抽選会を行いました。

新年のご挨拶



理事長 佐藤 均

新年、あけましておめでとうございます。

公衆衛生推進委員の皆さまや平素から地域に根付いた活動を通じて、県民の健康づくりと住みよい環境づくりに取り組む皆さまには、大変ご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて、2018年は、豪雨により広島県だけでなく、西日本の広範囲が被災する大変な年となりました。このたびの災害で被災された方々に、謹んでお見舞い申し上げます。一刻も早い復旧を心より願っております。当協会は大規模な災害の復旧復興の一助になればとの思いから、広島県との「災害時の遊休井戸等共助利用に係る水質検査に関する協定」に基づく共助井戸の水の水質検査、江田島市給水作業支援、避難所での生活が継続している被災者を対象にしたボールエクササイズの実施、被災地のボランティア活動への参加など、微力ながら支援させていただきます。

この支援を通じて、災害復旧・復興・防災・減災の視点を加えた新しい公衆衛生活動の必要を強く実感しています。2019年度から2022年度まで実施する第1次経営ビジョン第3期中期経営計画では、地域活動支援センターの重点方針で「減災・防災復興に寄与する人材育成」を掲げ取り組む所存でございます。公衆衛生推進委員の皆さまには、何卒ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、協会運営に引き続きご支援とご協力をお願いいたしますとともに、皆さまのご発展とご健康をお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)
TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

基本理念

~みんなの生命(いのち)をまもりたい~

私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。

